

<付録> 年 表

| 年号 (西暦) | おもなできごと |
|---------------------------|---|
| (縄文時代 早期) | 大磯の草分けとなった人たちが住み始めたと思われる(万台遺跡)。 |
| 大化 1 年 (645) | 相模国造、師長国造、鎌倉別の地を併せて相模の国となる。 |
| 霊亀 2 年 (716) | 高麗人1,799人を武蔵国に移し、高麗郡を置く。 |
| 養老のころ(717~724) | 相模国の国府祭が始まる。 |
| 天平 7 年 (735) | 余綾郡と、その郡役所が国府地区に置かれる。 |
| 平安 中期 天養~保元(1144~1158) | 寺坂、王福寺の本造薬師如来坐像がつくられた。 相模国の国府が余綾郡に移る。 |
| 建久 4 年 (1193) | 曾我兄弟が富士の裾野で、父の敵工藤祐経を討つ。 |
| 弘安 5 年 (1282) | 国府祭、5月5日に改められる。 |
| 永禄 4 年 (1561) | 上杉謙信が小田原に攻めるにあたって、高麗寺城を攻め、陣をとる。 |
| 慶長 6 年 (1601) | 東海道に宿駅の制が定められ、一里塚ができる。 |
| 寛文 4 年 (1664) | 崇雪が鳴立庵を建てる。 |
| 元禄 8 年 (1695) | 大淀三千風が鳴立庵を建てる。 |
| 享保 17 年 (1732) | 享保の大飢饉。国府新宿も凶作にみまわれる。 |
| 宝暦 12 年 (1762) | 大磯宿、神明町から鳴立沢まで消失する大火。 |
| 天保 7 年 (1836) | 天保の飢饉で川崎屋などが打ちこわされる。 |
| 文久 1 年 (1861) | 小野懐之が私塾「秉彝館」を開館。このころ大磯に私塾、寺子屋多し。 |
| 明治 4 年 (1871) | 渡辺慶次郎(寺坂の人)が日本最初の落花生を栽培する。 |
| 明治 6 年 (1873) | 大磯小学校の前身「秉彝館」、国府小学校の前身「思文館」を開く。 大磯郵便取扱所が開設される。 |
| 明治 7 年 (1874) | 金目村に捕亡出張所(大磯警察署の前身)を置き、大磯駅に分派捕亡所を置く。 |
| 明治 11 年 (1878) | 大住・淘綾両郡役所を大磯駅に置く。 |
| 明治 18 年 (1885) | 松本順、日本最初の海水浴場を開く。 |
| 明治 19 年 (1886) | 添田辰五郎(国府本郷の人)がサフランを初めて栽培。 |
| 明治 20 年 (1887) | 東海道本線、横浜・国府津間が開通、大磯駅もできる。 |
| 明治 22 年 (1889) | 町村制が施行され、大磯町、国府村が誕生。 |
| 明治 23 年 (1890) | 大磯町が大火にみまわれる。中川良知町長は、南下町の住民を長者町に移し、町の整備をはかる。 |

| 年号 (西暦) | おもなできごと |
|------------------|---|
| 明治 29 年 (1896) | 大住・洵綾両郡を合併して中郡と改め、郡役所を大磯町に置く。 伊藤博文、大磯町に滄浪閣を建て、町民となる。 |
| 明治 33 年 (1900) | 大磯町に電気供給開始。 |
| 明治 35 年 (1902) | 大磯郵便局、電話交換業務の取り扱いを開始(加入者：10戸) |
| 明治 36 年 (1903) | 大磯漁業組合が設立される(現在の大磯町漁業協同組合)。 |
| 明治 40 年 (1907) | 国府村に電気供給開始。 |
| 大正 12 年 (1923) | 関東大震災(死傷行方不明約245人、家屋全・半壊約1,025戸)。 |
| 大正 15 年 (1926) | 大磯小学校に大磯幼稚園を併設。 中郡役所廃止。 |
| 昭和 2 年 (1927) | 大磯小学校に町立大磯実科高等女学校(現県立大磯高等学校)を併設。 |
| 昭和 11 年 (1936) | 江の島入口・大磯間の湘南遊歩道路開通。 |
| 昭和 9 年 (1934) | 県営水道、大磯の一部に給水開始。 |
| 昭和 11 年 (1936) | 照ヶ崎海岸にプール完成。 |
| 昭和 15 年 (1940) | 国府郵便局開局。 |
| 昭和 20 年 (1945) | 米軍機の空襲を受け、寺坂地区の大半を焼失。 |
| 昭和 22 年 (1947) | エリザベス・サンダースホーム設立。 |
| 昭和 23 年 (1948) | 町立図書館開館。 |
| 昭和 27 年 (1952) | 国府村は国府町となる。 教育委員会設置。 |
| 昭和 29 年 (1954) | 大磯カーニバル始まる。 大磯町と国府町が合併、大磯町となる。 |
| 昭和 30 年 (1955) | 町立国府保育園開園。 |
| 昭和 31 年 (1956) | 二宮英雄選手がメルボルンオリンピックに出場。 大磯文化史発刊。 |
| 昭和 34 年 (1959) | 町立国府幼稚園開園。 |
| 昭和 35 年 (1960) | 大磯町商工会が設立される。 |
| 昭和 38 年 (1963) | 大磯バイパス完成。 |
| 昭和 39 年 (1964) | 大磯ホテルが東京オリンピックのヨット選手村となる。 町章制定。 |
| 昭和 40 年 (1965) | 吉田茂元首相、安田靫彦画伯に名誉町民の称号を贈呈 |
| 昭和 41 年 (1966) | 西湘バイパス大磯地区(大磯起点～葛川インターチェンジ)が開通。 |
| 昭和 43 年 (1968) | 消防署開署。 米国オハイオ州デイトン市と姉妹都市を締結。 |

| 年号（西暦） | おもなできごと |
|---------------|--|
| 昭和 44 年（1969） | 厚木・小田原バイパスが開通し、大磯インターができる。 町立大磯保育園開園。 |
| 昭和 46 年（1971） | 町役場新庁舎が現在地に完成。 高麗に相模貨物駅ができる。 |
| 昭和 48 年（1973） | 町立小磯幼稚園開園。 長野県小諸市・山口村と文学姉妹都市を締結。 大磯港完成。 |
| 昭和 49 年（1974） | 町立月京幼稚園開園。 消防庁舎・武道館が完成。 |
| 昭和 50 年（1975） | 町の木「くろまつ」「さざんか」に決定。 故島崎藤村、高橋誠一郎氏に名誉町民の称号を贈呈 生沢プール完成。 |
| 昭和 53 年（1978） | 環境美化センター「さざんか園」完成。 国府支所新庁舎完成。 |
| 昭和 54 年（1979） | 休日の急患診療開始。 町立図書館国府分館開館。 町立老人福祉センター開所。 |
| 昭和 55 年（1980） | 住居表示を実施。 町立国府中学校新校舎現在地に完成。 故澤田美喜女史に名誉町民の称号を贈呈 |
| 昭和 56 年（1981） | 町民憲章制定。 大磯町商工会館が完成。 駅前自転車駐車場オープン。 |
| 昭和 57 年（1982） | 保健センター完成。 米国ウィスコンシン州ラシン市と姉妹都市を締結。 |
| 昭和 58 年（1983） | 町立図書館が現在地に完成。 |
| 昭和 59 年（1984） | 町立ふれあい会館開館。 海水浴場開設100年記念式典を開催。 町の鳥「かもめ」に決定。 |
| 昭和 60 年（1985） | 町立国府保育園現在地に完成。 大磯・二宮トンネル開通。 |
| 昭和 61 年（1986） | 町立大磯小学校新校舎が完成、オープンスペース方式を取り入れる。 |
| 昭和 62 年（1987） | 鳴立庵復元工事完成。 平和宣言記念碑完成。 |

| 年号（西暦） | おもなできごと |
|-----------------------------|--|
| 昭和 63 年（ 1988 ） | 郷土資料館開館。 |
| 昭和 64 年（ 1989 ） （平成 元 年） | 狭あい道路等拡幅整備事業実施。 町制施行100周年事業を開催。 |
| 平成 2 年（ 1990 ） | 県立大磯城山公園開園。 ごみ処理施設完成。 下水道整備に着工。 |
| 平成 3 年（ 1991 ） | 町史編さんを開始。 |
| 平成 4 年（ 1992 ） | 町立国府小学校新校舎が完成。オープンスペース方式を取り入れる。 |
| 平成 7 年（ 1995 ） | 照ヶ崎プールが新装オープン。 長野県小諸市と災害時相互支援協定を締結。 |
| 平成 8 年（ 1996 ） | 大磯町海岸自動車等乗入れ禁止条例を施行。 西部地区防災施設が完成。 旧島崎藤村邸を一般公開。 |
| 平成 9 年（ 1997 ） | 町道幹16号線城山トンネル開通。 町立国府小学校体育館が現在地に完成。 ダイオキシン対策、ごみの分別収集開始。 |
| 平成 10 年（ 1998 ） | かながわゆめ・国体(ゴルフ・綱引)開催。 町の花「はまひるがお」に決定。 |
| 平成 11 年（ 1999 ） | 岩田記念室内競技場が完成。 生涯学習館がオープン。 |
| 平成 12 年（ 2000 ） | 町立大磯小学校が改装。 高麗・東町・大磯地区の一部地域で下水道供用開始。 |
| 平成 13 年（ 2001 ） | 大磯運動公園一部開園(テニスコートオープン)。 |
| 平成 14 年（ 2002 ） | 東海道シンポジウム大磯宿大会を開催。 |
| 平成 15 年（ 2003 ） | 横溝千鶴子記念障害福祉センター完成。 大磯町運動公園野球場が完成。 大磯町高麗と平塚市桜ヶ丘を結ぶ、高麗大橋開通。 県と共同で大磯こゆるぎ緑地(0.17ha)を購入。 旧野村研修所跡地(旧マリア聖堂)を購入。 |
| 平成 16 年（ 2004 ） | 大磯運動公園多目的広場が完成、全面オープン。 大磯町・国府町合併50周年事業を開催。 |

| 年号（西暦） | おもなできごと |
|---------------|--|
| 平成 17 年（2005） | 岐阜県中津川市・長野県小諸市との間で姉妹都市盟約、災害時相互応援協定を締結。 |
| | 旧野村研修所跡地の名称を「万台こゆるぎの森」とする。 |
| 平成 18 年（2006） | 大磯駅バリアフリー化事業開始。 |
| | 旧吉田茂邸を県立都市公園として整備する方針が決まる。 |
| 平成 19 年（2007） | 松本順没後100周年記念事業を開催。 |
| | 旧吉田茂邸シンポジウムを開催。 |
| | 20年ぶりに嶋立庵の茅葺屋根葺き替え工事が行われる。 |
| 平成 20 年（2008） | 大磯駅バリアフリー化工事完成。 |
| | 大磯運動公園、福祉センターさざれ石で指定管理者運営開始。 |
| 平成 21 年（2009） | 旧吉田茂邸が火災により焼失。 |
| | 伊藤博文没後100年記念展を開催。 |
| | 電気自動車を公用車に導入。併せて、電気自動車用急速充電器を敷地内に設置。 |
| 平成 22 年（2010） | 町立月京幼稚園が移転し、町立たかとり幼稚園開園。 |
| | 大磯町横溝千鶴子記念子育て支援総合センター完成。 |
| | 町の鳥「アオバト」に決定。 |
| 平成 23 年（2011） | 大磯町自治基本条例を制定・施行。 |
| 平成 24 年（2012） | 東海大学との包括的な提携に関する協定書締結。 |
| | 大磯町美しいまちづくり条例を制定・施行。 |
| | 旧木下家別邸（大磯駅前洋館）が国登録有形文化財（建造物）に登録。 |
| | 町立国府小学校に学校プールが完成。 |
| 平成 25 年（2013） | 1市2町ごみ処理広域化開始。 |
| | 神奈川大学との包括的な提携に関する協定書締結。 |
| | 県立大磯城山公園「旧吉田茂邸地区」部分開園。 |
| 平成 26 年（2014） | 大磯町合併60周年記念事業を行う。 |
| | 大磯海水浴場開設130年を迎える。 |
| 平成 27 年（2015） | 旧町営照ヶ崎プールを改修した『ポートハウスてるがさき』開設。 |
| | 大磯町教育大綱を策定。 |
| | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の |
| | ホストタウンに決定。（相手国：エリトリア） |

| 年号（西暦） | おもなできごと |
|---------------|-------------------------------|
| 平成 28 年（2016） | 郷土資料館リニューアルオープン。 |
| 平成 29 年（2017） | 大隅良典東京工業大学栄誉教授に大磯町名誉町民の称号を贈呈。 |
| | 旧吉田邸再建、公開。 |